

平成30年8月1日

第7回認知症医療介護推進会議

# 大府市における認知症施策の取組



第25回「住みよさランキング」（2018年）  
で、全国814市区中、**6位**になりました！

大府市長 岡村秀人

大府市公式マスコットキャラクター  
「おぶちゃん」



大府市  
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

# はじめに 大府市の紹介

項目	データ
市制施行	昭和45年9月1日
面積	33.66km <sup>2</sup>
総人口 (H30.4.1)	91,952人
高齢者数 (高齢化率)	19,365人 (21.1%)
人口増減率 (H22⇒H27)	+4.6%
財政力指数 (3年の平均)	1.10
広報大使	吉田 沙保里さん 吉田 秀彦さん
市内の主な 施設・機関	国立長寿医療研究センター 認知症介護研究・研修大府 センター JAあぐりタウン元気の郷 等



## 特産品



# はじめに 「健康都市おおぶ」

## 総合計画における将来都市像

- 第1次 (S47～60) 「明るい、住みよい、豊かな**健康都市**」
- 第2次 (S58～H7) 「心のふれあう調和のとれた**健康都市**」
- 第3次 (H 3 ～12) 「活力みなぎる快適な**健康都市**」
- 第4次 (H11～22) 「躍動・ふれあい・**健康都市**」
- 第5次 (H22～32) 「みんな輝き 幸せ感じる **健康都市**」

## 「健康都市おおぶ」の歩み

- S62年3月 「健康づくり都市宣言」
- H18年 WHO健康都市連合に加盟
- H21年 ウェルネスバレー基本計画策定
- H29年2月 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進条例制定



大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

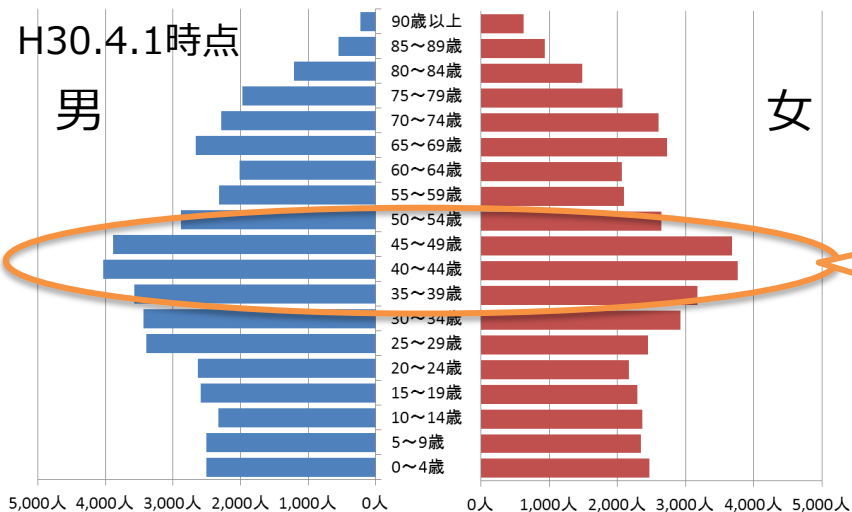


# 大府市の現状と将来推計

各年度4月1日現在

区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	37年度
総人口	人口	87,836人	88,550人	89,423人	90,160人	91,384人	91,952人	93,634人
	増加率	—	101%	102%	103%	104%	105%	107%
高齢者 (65歳以上)	人口	16,512人	17,354人	18,160人	18,696人	19,107人	19,365人	20,854人
	増加率	—	105%	110%	113%	116%	117%	126%
	高齢化率	18.8%	19.6%	20.3%	20.7%	20.9%	21.1%	22.3%
後期高齢者 (75歳以上)	人口	6,875人	7,183人	7,607人	8,058人	8,572人	9,086人	12,557人
	増加率	—	104%	111%	117%	125%	132%	183%
	後期高齢化率	7.8%	8.1%	8.5%	8.9%	9.4%	9.9%	13.4%

※増加率は平成25年度を基準とした各年度の伸び率。平成37年度は国立社会保障・人口問題研究所の推計(H30年)



後期高齢者の増加率が非常に高い

団塊ジュニア世代が市の人口のボリュームゾーン



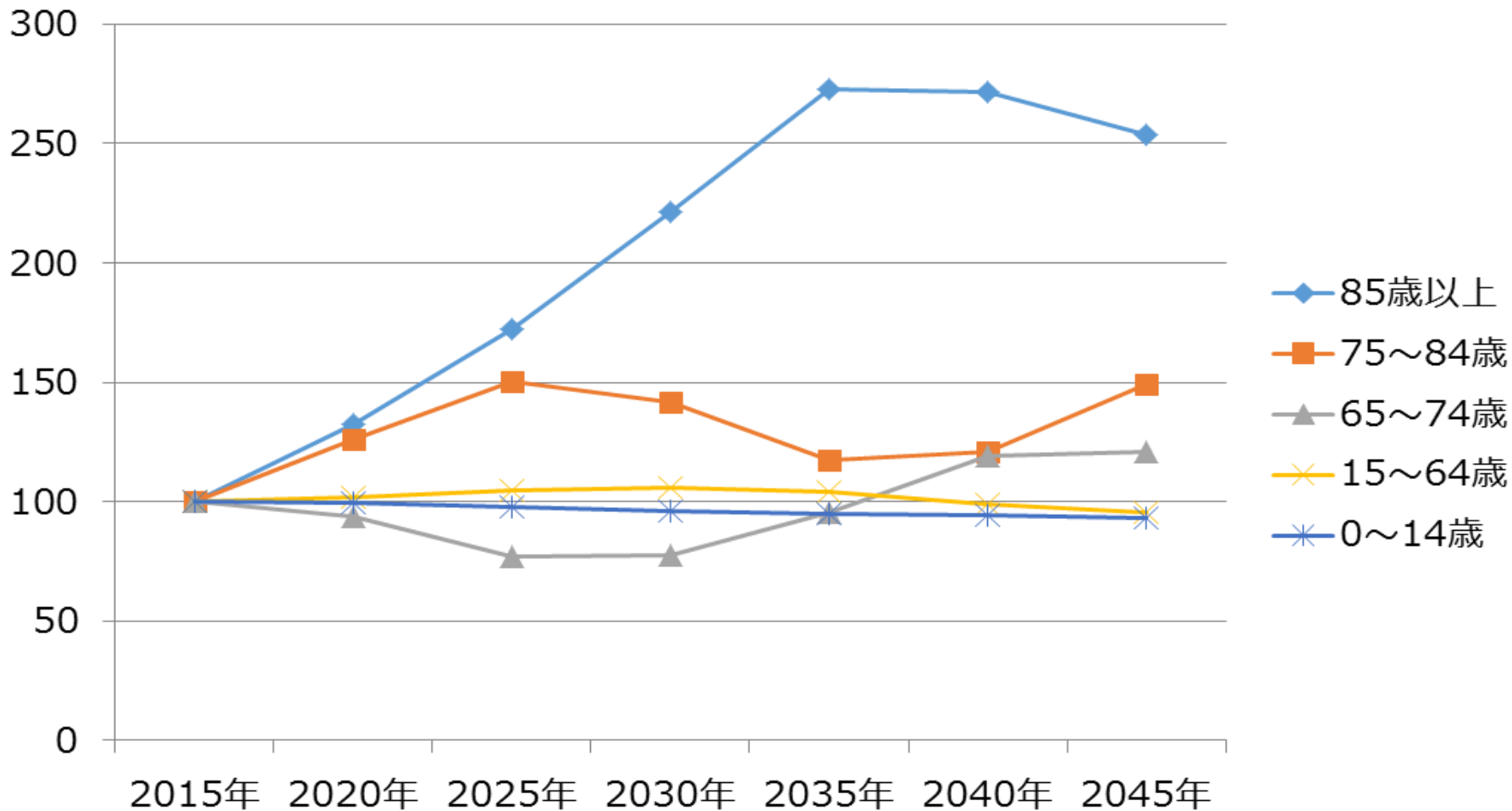
大府市  
Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」

# 大府市の現状と将来推計

年齢階級別の人口の推移（2015年を100とした場合の2045年までの推計値）

※2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計(H30年)



# 認知症不安ゼロのまちづくり



岡村ひでと  
後援会だよりNo.1

平成28年 1月10日発行  
発行者／岡村ひでと後援会

**岡村ひでと**  
おかむらひでと

準備万端 今が旬

行政のプロフェッショナル  
県職員26年、大府市役所派遣2年、  
大府副市長・助役11年

岡村ひでと氏は新しい時代の新しい政治をめざして精一杯頑張っています。皆様の一層のご指導のほど、お願い申し上げます。

岡村ひでと後援会会長 深谷泰造

## ●産後ケア事業の検討



## ②高齢者や障がいのある方の居場所・生きがいづくり

- ふれあいサロンなど常設の居場所づくりの推進
- 高齢者の外出支援策、買い物支援策としてふれあいバスの充実
- 障がい者施策を一層進め、雇用の場を拡充
- 肢体不自由児のための通園施設の検討
- 市内かかり付け医と訪問看護など医療と介護の連携推進
- 特別養護老人ホーム建設支援

## ③認知症不安ゼロのまちづくり

- 長寿医療研究センターの協力を得てプログラムの策定、実施
- 認知症サポーターの養成、認知症カフェづくり、家族の会支援

市長選の公約（マニフェスト）で  
『**認知症不安ゼロのまちづくり**』を表明  
⇒認知症施策のさらなる充実をめざす！



# 認知症不安ゼロのまちづくり

## 『大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例』制定の背景

- 「健康都市おおぶ」としての歴史ある歩み
- 国立長寿医療研究センター・認知症介護研究・研修大府センター・あいち健康の森健康科学総合センター（あいち健康プラザ）が集積する環境
- 「認知症の予防」「認知症の人にやさしい地域づくり」の実現に向けた様々な取組の実績
- 全国の注目を集めた鉄道事故（認知症の人を介護する家族の監督義務をめぐって裁判で争いに）から10年が経過（平成19年12月に市内で発生）

- ▶ 超高齢社会において、「認知症になることの不安」と、「認知症になった後の不安」の両者を軽減できるよう、市民・関係者・行政が一体となって取り組むためのシンボルとして、条例化を検討
- ▶ 日本初の「認知症施策に関する総合条例」として、大府モデルが他の地域へも広がることを期待

# 大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例①

## 目的

認知症の予防及び認知症の人にやさしいまちづくりについて、**市民、事業者、地域組織及び関係機関の役割並びに市の責務を定めることにより、認知症に関する施策及び取組を総合的に推進し、もって認知症に対する不安のないまちを実現することを目的とする。**

## 基本理念

- ① 認知症に関する**正しい知識及び理解に基づき、認知症の人及びその家族の視点に立って取り組むこと。**
- ② 認知症の人をはじめ、**誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すこと。**
- ③ **市民、事業者、地域組織、関係機関及び市が、それぞれの役割又は責務を認識し、相互に連携すること。**

※平成29年12月26日公布 平成30年4月1日施行



# 大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例②

## 関係主体の役割・責務

### 市民の役割

- 認知症に関する理解を深める
- 日常生活における認知症の予防
- 関係主体の施策・取組への協力

### 地域組織の役割

- 認知症に関する理解を深める
- 地域における支え合い活動の取組
- 関係主体の施策・取組への協力

### 事業者の役割

- 認知症に関する理解を深める
- 従業員に対する教育の実施
- 認知症の人の個々の特性に応じた配慮
- 関係主体の施策・取組への協力

### 市の責務

- 認知症に関する現状や、本人・家族の要望等に関する調査・分析に基づく、認知症施策の総合的な実施
- 施策を実施する組織体制の整備

### 関係機関の役割

- 認知症に関する専門知識を有する人材の育成
- 関係機関相互の連携の推進
- 関係主体の施策・取組への協力

## 市の施策

正しい知識の普及

予 防

本人・家族への支援

推進体制

大府市認知症地域支援ネットワーク会議

# 認知症不安ゼロのまち おおぶ

予 防

本人・家族への  
支援



正しい知識の普及



# 認知症不安ゼロのまち おおぶ

- プラチナ長寿健診（認知症予防健診）の実施
- 活動記録手帳（コグニノート）によるセルフケア促進
- 健康長寿塾（介護予防教室）の開催(コグニサイズの普及)
- コグニサイズジムの開設
- ウォーキングコース・サインの整備 等



- 介護保険サービスの提供
- 高齢者相談支援センターや認知症地域支援推進員、初期集中支援チームの設置
- 介護家族交流会の開催
- 認知症カフェ登録事業の実施
- 地域での行方不明者搜索模擬訓練の実施
- 民生委員や事業者による地域の見守り活動の実施 等

- 認知症サポーターの養成
- サポーターフォローアップ研修の開催
- 市民フォーラムの開催
- 出前講座・公民館講座の開催
- 認知症支援ガイドの配布 等



# 認知症不安ゼロのまちづくり



## 認知症サポーターの養成

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を地域の中で温かく見守る応援者 = 認知症サポーターの養成講座を開催

## 市民フォーラムの開催

市民が認知症に関する最新の知識に触れるとともに、認知症に関する正しい理解を広げる機会として開催



# 認知症不安ゼロのまちづくり



## プラチナ長寿健診

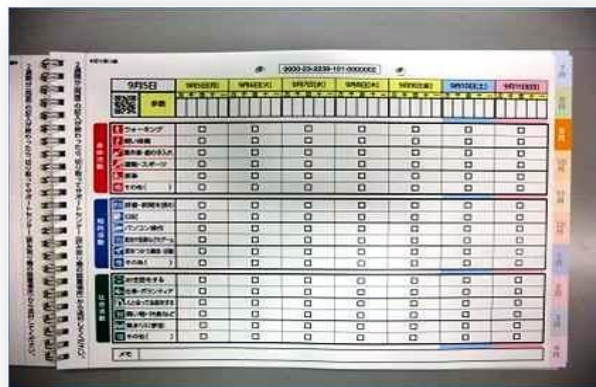
75歳以上の後期高齢者を対象に、認知症やフレイルのリスクの早期発見を目的に、脳とからだの健康度に着目した検査を行う

## (地域版) 健康長寿塾

身近な場所で認知症・フレイル予防の活動に参加できるよう、市内の2つの公民館で、常設型（自由参加）の予防教室を開催



# 認知症不安ゼロのまちづくり



**活動記録手帳（コグニート）**  
 プラチナ長寿健診受診者に、日々の活動（身体・知的・社会参加）を記帳するノートと万歩計を配布。公共施設等にある読取機で定期的にノートを送信すると、結果をまとめたレポートが送付されることで予防活動の継続を促す

## コグニート表彰式・贈呈式

1年を通してコグニートの記帳・データ送信を継続した方を対象に、表彰状を授与。あわせて、新しいノートの贈呈を行う。平成29年度は、約1,500人の参加者中、100%近いデータ送信率の方467人（約3割）を表彰



# 認知症不安ゼロのまちづくり



**認知症行方不明者搜索模擬訓練**  
認知症の人が行方不明になったと想定し、自治区単位で地域住民・団体、民生児童委員、福祉施設職員などが参加する搜索訓練を実施

**おおぶ・あったか認知症カフェ**  
認知症の人やその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集える居場所 = 認知症カフェの登録事業を行い、市が運営を支援



# 条例に基づく新たな取組①

日ごろの見守り &  
もしものお守り

## 見守りネットワークの充実（事前登録制度の開始）

認知症の方が行方不明になった場合に、関係機関や協力者等へ搜索活動や情報提供への協力を呼びかける「おおぶ・あったか見守りネットワーク」の充実を図るため、行方不明になるおそれのある方の情報を事前に市へ登録する制度を開始。

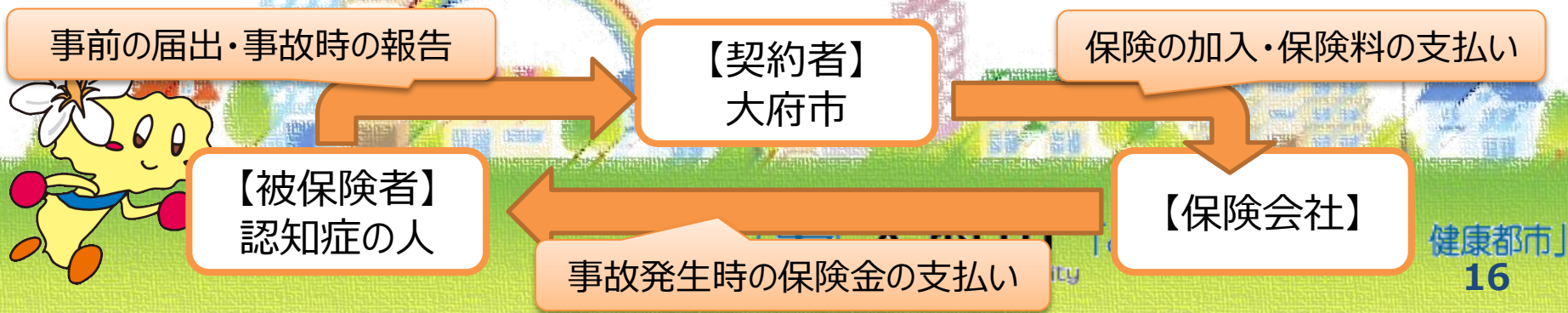
## 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症の方が起こした日常生活における偶然の事故により、第三者の身体や財物に損害を与えたことで生じる法律上の賠償責任を負う場合に被る損害を補償する「個人賠償責任保険」に、市が契約者として加入。

対象者：見守りネットワークに登録した認知症の方（疑いの方や若年性の方を含む。）で、在宅の方（保険加入を希望する方のみ）

補償内容：個人賠償責任保険 1億円（示談交渉サービス付）

死亡・後遺障害保険 82万5千円





# 条例に基づく新たな取組②

## 「徘徊」表現の見直し

「徘徊」という表現が認知症に対する誤解や偏見につながることから、平成29年12月の条例制定を機に、行政文書等で「徘徊」という表現を使用せず、伝えたい内容に応じてふさわしい表現で言い換えることに決定。平成30年5月には、定例記者会見で市の方針を公表し、市民や関係機関等へも言い換えを呼びかけ。

## 「食べる機能健診」（口腔機能健診）の実施

口腔機能の低下に伴うフレイルや低栄養状態を予防するため、75歳以上のプラチナ長寿健診受診者を対象に、日本老年歯科医学会が定めた「口腔機能低下症」の診断基準をもとにした全ての項目の健診を実施。

### 【健診項目】

歯科健診／口腔機能健診（①口腔細菌数、②口腔乾燥、③咬合力、④舌口唇運動機能、⑤低舌圧、⑥咀嚼機能、⑦嚥下機能）／保健指導



平成30年5月の  
記者会見の様子



# 認知症不安ゼロのまちづくり

事業者

市民

買物

家事

仕事

趣味

介護

家族

外出

居場所

関係機関

医療

地域組織

仲間

行政



# あいちオレンジタウン構想

「あいちオレンジタウン構想」とは・・・

- 認知症対策の一層の推進を目的に、保健・医療・福祉の専門機関が集積する「あいち健康の森」周辺地域が一体となり、「認知症に理解の深いまちづくり」の先進モデルをめざすための取組を示した構想
- 愛知県がコーディネーターとなり、構想に基づく取組の成果を全県へ波及



平成30年1月31日に「あいちオレンジタウン構想 第1回大府懇談会」を開催

平成29年9月策定

大府市

welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」



ご清聴ありがとうございました。



大府市

Welcome to OBU City

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」